

森林技術・支援センター庁舎（岐阜県下呂市森876-1）に利用した木材に係る炭素貯蔵量（CO₂換算）

延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
285.28 m ²	116 m ³	73 t-CO ₂	116 m ³	73 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（CO₂換算）の量を示すものです。
木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

【計算式】

$$\text{木材の材積 (m}^3\text{)} \times \text{密度 (t/m}^3\text{)} \times \text{炭素含有率} \times 44/12 = \text{炭素貯蔵量 (CO}_2\text{換算) (t-CO}_2\text{)}$$

【計算】

○ CLT構造材	スギ	89.17 m ³	×	0.331 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	54.0 t-CO ₂
○ 構造材	ヒノキ	5.44 m ³	×	0.383 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	3.8 t-CO ₂
○ 構造材	カラマツ	5.25 m ³	×	0.435 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	4.2 t-CO ₂
○ 製材	スギ	8.91 m ³	×	0.331 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	5.4 t-CO ₂
○ 製材	ヒノキ	6.21 m ³	×	0.383 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	4.4 t-CO ₂
○ 製材 (国産材以外)	樹種不明	0.41 m ³	×	0.331 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2 t-CO ₂
○ 製材 (再利用)	イスノキ	0.89 m ³	×	0.783 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	1.3 t-CO ₂
									計	73.3 t-CO ₂

※ 木材使用量には、車庫棟（延べ床面積35.57m²）1棟に使用した木材使用量を含みます。

（責任者名） 中部森林管理局 総務企画部 経理課 経理課長

（連絡先） TEL 050-3160-6527

中部森林管理局 総務企画部 専門官（契約適正化・債権管理担当）

（連絡先） TEL 050-3160-6533